

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	16	議員名	わたなべ良平	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	松江堀川の事前放流について	(1) 松江市は今年6月から島根県とともに、松江市街地の緊急浸水対策の一つとして松江堀川の事前放流を行い、水位の低減を図ってきた。 ア 今夏の市街地での浸水被害について 事前放流を行った際の雨量と浸水被害の関係において、昨年度までと比較して変化があったか何う。 イ 堀川遊覧船の運行について 堀川遊覧船の安全な運行には一定程度の水位が必要である。実際に堀川遊覧船の運行調整はどうだったか何う。 ウ 堀川の水草・藻の発生について 水位の調整過程で塩分濃度の高い宍道湖の水を堀川に流入させる際、堀川の塩分濃度が変わること水草や藻の発生に影響が出ることへの懸念もあったと考える。実際に堀川の水草・藻の発生量に変化があったか何う。 エ 河川事業における島根県との連携について 松江堀川は米子川など一部を除いてほとんどが県の管理河川で構成される川である。松江市にある県の管理河川や松江堀川の環境整備費用は県と市とで折半で負担しており、市の管理河川の環境整備費は全て市が負担している。このような形をとっているのは中国5県では島根県だけとのことだが、この取り決めについて松江市の見解を何う。					
2	加齢性難聴支援について	(1) 加齢性難聴とは、加齢による耳の中の組織変化により聴力が徐々に低下する現象で、一般的に高い音から聞こえにくくなる。QOLの低下につながることから、早期に補聴器などの対策をとることが重要である。 ア 補聴器の普及率と補聴器トラブルについて ①補聴器の普及率・補聴器の満足度・補聴器購入時の助成取得割合について、日本と諸外国とで比較した時に差があるか何う。 ②補聴器に関するトラブルについて、どのようなものがあるか何う。 イ 補聴器購入費用の助成について ①島根県内の他の自治体事例について、実績を含め、現在の助成実施状況について何う。 ②本市の検討の進捗状況について何う。 ウ 聴こえの相談会の開催について 境港市では補聴器購入費用の助成開始に合わせて、言語聴覚士による補聴器の個別相談窓口「聴こえの相談会」を始めている。費用助成制度をより有効な支援とするために、費用助成と併せて検討するべきだと思うが、市の見解を何う。					
3	インド・ケララ州との経済連携について	(1) 今年の10月、松江市は中海・宍道湖・大山圏域の市長会などで行く訪印団の一員として、インド南部・ケララ州を訪れ、日印の経済交流拡大に向けて2015年に同州政府などと交わした協定に再調印した。 ア インド・ケララ州との協定について 10年間の協定の成果と今後の展望について何う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	16	議員名	わたなべ良平	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
		イ 実施計画について 新しい協定にはITや観光、医療など9分野の連携強化に加え、具体化に向けた実施計画の骨子を調印後3カ月以内をめどに策定するとの項目を加えた。実施計画について具体的な見通しや課題について伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	17	議員名	錦織伸行	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	松江市の町内会、自治会の将来像について	(1) 令和7年6月議会で市長からお話のあった「将来の松江市の町内会、自治会のあり方を考えるプロジェクト会議の開催」は大変良い試みだと感銘を受けた。その後の進捗状況や報告などを伺う。					
2	山林火災とメガソーラー発電施設について	(1) 今議会で議論する山林火災に関する条例の見直しは、大変歓迎するものである。また、直接火災と向き合う消防の仕事、役割は消火活動以上に火災の予防を重視すべきと考えている。 未だ記憶に新しい愛媛県今治市の山林火災の現場を、約半年ほど前に視察した。現地を見るまでは、山林火災とは山の稜線沿いを火が伝わり延焼が広がるものばかり思い込んでいたが、現実には火元は平野部の頭上高く飛び越え反対側の山や住宅地に類焼していた。この状況から松江市における山林火災を、想定してみる。 ア 現在計画中の比津町の旧ゴルフ場で火災が起きた場合、現地周辺に発生する北西季節風で平野を挟み相当程度の距離のある亀田山上の松江城天守閣に飛び火する可能性の有無について伺う。 イ 飛び火する可能性がある場合、放水銃やスプリンクラーを主にした現在の松江城の防火体制で、松江城や亀田山への飛び火は防げるかを伺う。 ウ 大規模火災の原因となり得るメガソーラー発電施設について、そもそも地域防災の観点からどういう認識を持っているかを伺う。また、消防点検はどういうところを見るのかを伺う。 エ 過去の事例で、太陽光発電施設は元々水を使っの鎮火が難しいとされているが、その認識は正しいかを伺う。 オ 前回議会で、再生可能エネルギー発電施設への多くの懸念払拭のために、松江市独自の条例が制定された。他の地域にない試みもあり、制約のあるなか地方自治体としては評価するが、火災予防の観点からはこれで十分と考えるかを伺う。					
3	松江市の観光戦略について	(1) 朝ドラ「ばけげん」終了後の観光戦略について、前回議会で質問した。その折に、次の世代に引き継ぐための顕彰事業などに力を入れたいというようなお話を頂いた。現時点で、何か具体的な予算要求などがなされているかを伺う。 (2) 松江市の観光力のグレードアップ、観光客の利便を図るために導入された「宿泊税」の具体的な利用計画、予算規模を伺う。 (3) 現代、将来の観光において「現地」「体験」なども大切だが、SNSなどの情報発信が個人の体験を拡散し、更に大きな拡がりを持たせることは疑いはない。 数年前から京都駅に写真スポットを設け、個人の観光体験に加えて地域イメージ等を気軽に、しかし飛躍的に拡散、共有する目的で試みられた事例がある。自家用車や車が無ければ、点在する観光スポットが回り切れなかったり、天候の事情で夕日に会えない観光客も少なからずいる。そういう残念な体験をカバーしたり、せめて仮想空間、仮想体験でもカバー出来る企画も検討出来ないかを伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	17	議員名	錦織伸行	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
4	松江市立病院について	(1) コロナ禍終息後、日本中の多くの医療機関が厳しい社会、経営環境に苦しんでいる。 先般は「診療報酬」の見直しなどが早急に求められる現状や国の対応が報道された。 ア 近年の松江市立病院の経営状況、財政状態について伺う。 イ 現行スタッフの労務環境や人員不足等についての現状を伺う。もし問題あれば、その原因は何と考えるのかを伺う。 ウ 多くの病院の監査経験者を有する「中国公認会計士会」の研修を受けた。今後の公立病院は「①現状のまま②独立行政法人③民間委託」という考え方と実例が一部紹介された。 また、別の研修では兵庫県川西市の松木茂弘副市長より「民間委託」や「個室を増やすこと」等で黒字化した体験をお話いただいた。 「①現状のまま②独立行政法人③民間委託」のそれぞれの優位点、劣後点についていかに考えるかを伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	18	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	高市新政権下での再生可能エネルギー政策	(1) この近年で、状況は変わりつつある。近年の事象や高市政権の再生可能エネルギー政策の流れの中で、本市で計画中の大規模太陽光発電事業に対する市長の率直な見解を伺う。					
2	有機農業・循環型農業の展望・抱負は	(1) 国も「みどりの食料システム戦略」において中長期的な方針を示しているようであるが、有機農業や循環型農業に対する国、また県の方向性を伺う。 (2) 松江市における有機農業の実情としては、令和6年2月の答弁にあったように、頑張って取り組まれている方もおられるものの、決して多くはないということであるが、その後の松江市における有機農業・循環型農業の実情について伺う。 (3) 松江市において農業の喫緊の課題は、今後の担い手をどう確保するか、耕作放棄地をどう耕作地に戻していくのかということであろうと思うが、この点についての松江市の取組状況を伺う。 (4) 松江市の農業政策における有機農業・循環型農業への展望・抱負を伺う。					
3	大橋川改修と中海の今	(1) 先般行われた中海会議において、大橋川改修の中で中州を撤去するにあたり、干拓・淡水化事業によって生じた中海のくぼ地を、この大橋川改修の土砂で埋め戻すということが報告されたようである。中海会議について、これはどういうもので、今回の会議でどういうことが決まったのか伺う。 (2) 干拓・淡水化事業によって中海にくぼ地が生じたということであるが、今、中海はどういう状況であるのか。また、その状態に対してのこれまでの国や県、そして市の取組はどういったもので、またその取組の松江市としての評価を伺う。 (3) 出雲河川事務所によると、埋戻しは大橋川改修に伴い、松江市西川津町と西尾町にまたがる中洲の「中の島」で出た土砂、または朝酌矢田の工事の土砂の活用も見込んでいっているということである。大橋川改修工事も着々と進んでいるようであるが、現在の進捗状況を伺う。 (4) 中の島は掘削して浅場を造ることで、環境保全のためにヨシやコアマモを移すということである。多様な生物が生息する豊かな環境を目指していることが伺えるが、この事業の詳細について伺う。 (5) 今回の国土交通省出雲河川事務所による大橋川改修の際の土砂での埋め戻しは、中海のより良い状態に向けて大いに期待するところであるが、どういう効果がもたらされる見込みなのか伺う。 (6) ラムサール条約20周年を機に、関連市町村として今後こういった取組がなされるのか。また宍道湖、中海、大橋川を松江市としてはどのように位置づけ、取組がなされるのか伺う。					
4	ばけばけ効果に宍道湖のしじみを加えては	(1) 小泉八雲記念館、小泉八雲旧居も連日入館者でにぎわっているようである。それに付随する形で、堀川遊覧の乗船者の数も増えているのではないかと推察されるが、ドラマ開始後の乗船者数は例年と比べてどのような状況か伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	18	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
		(2) 宍道湖のしじみが農林水産大臣登録第171号の地理的表示に登録された。この地理的表示とはどういうものであり、松江市に関わるもので他にも地理的表示に登録されたものはあるのか。また、この度登録されたことへの所感を伺う。					
		(3) ブランド力が益々上がった宍道湖産のしじみを味わってもらうために、まずは、団体旅行客を受け入れるふれあい広場乗船場からでも、しじみ汁を提供してはどうかと思うが、見解を伺う。					
		(4) 来年4月以降の松江堀川地ビール館の活用について考えがあるのか伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	19	議員名	舟木一真	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	松江市のアウトソーシング（外部業務委託）について	(1) 現在松江市で行われている外部業務委託はどのようなものがあるか、概要を伺います。 (2) 総務省が提唱する自治体情報システムの標準化について ア 20の基幹業務がありますが、それぞれの進捗状況を伺います。 イ 2025年度末までの標準準拠システムへの円滑かつ安全な移行を目指すがありますが、松江市での見通しについて伺います。 (3) 松江市において、今後外部業務委託への移行を考えている分野があるか伺います。					
2	小中学校の教育環境について	(1) 松江市の地域学校コーディネーター（CN）について ア どのような方を選考し、どのような業務内容か伺います。 イ それぞれどの規模でどのように配置されているのか伺います。 ウ 地域学校CNを配置して改善した点や見えてきた課題があれば伺います。 (2) 小中学校の不登校支援について ア 令和6年度における不登校児童数を伺います。 イ 松江市における不登校への取り組みを伺います。 ウ 松江市には青少年相談室、ボタンねっと、こねくとがあるが、それぞれがどのような取り組みをしているのか伺います。 エ それぞれの令和6年度末での利用人数を伺います。 オ 不登校支援は様々な機関と協力して包括的に行われる必要があると感じますが、松江市としての見解を伺います。					
3	松江市立皆美が丘女子高等学校の魅力化について	(1) 学校の特別授業に茶道（お茶）、華道（いけばな）、着付けを取り入れてはどうか伺います。					
4	狩猟免許取得後について	(1) 狩猟免許取得者に市として猟友会への加入の啓発活動はどのように行っているのか伺います。					
5	地域のあり方について	(1) 市報について ア 現在、市報の予算、印刷費、配送費はいくらかかっているのか伺います。 イ 市報を全戸配布するにはいくらかかるのか伺います。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	19	議員名	舟木一真	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
		ウ 全戸配布する上での、課題や問題点があれば伺います。 (2) 松江市が作成する浸水・土砂災害ハザードマップはどの規模の降雨を前提として算定されているのか伺います。 (3) 自治会・町内会の把握が市単独ではできない現状を踏まえると、地域の実情を最も理解している公民館に協力してもらい、市が公民館区ごとの課題整理や将来に向けた総合的な計画づくりを行うことが必要と考えるが、市としての見解を伺います。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	20	議員名	石倉茂美	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	駅前再開発について	(1) 地下駐車場を埋めるべきだという意見や、地上に駐車場を新設するべきだという意見がある。地下駐車場をシェルターとして活用できないか、設置について見解を伺う。					
2	漏水水道管の更新について	(1) 水道管の工事費を増額し、安全のパーセンテージを上げてはどうか、伺う。					
3	松江の新しい観光地の掘り起こしについて	(1) 松江には観光地になる場所がたくさんあると思っている。市交通局と一畑バスが協力し、予約観光バスを運行してはいかがか、見解を伺う。					
4	新庁舎について	(1) 第2期の工事も終了し庁舎の説明を受けたが、気圧室の説明があまりに簡単であったので、市民に分かるように詳しく説明していただきたいがいかがか。					
5	市長の地域訪問について	(1) 地域に出かける時は、自分の足で歩き、人と気軽に、一個人として見て回れば、違った道が開けてくると思う。心が伝わる市長であって欲しいが、所感を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	21	議員名	岩田幸子	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	松江市消防団女性分団カメラ隊について	(1) 近年災害の多様化が進む中で地域防災力の維持、向上には男性消防団員の活動に加え、女性消防団員の視点と能力をいかに生かすか重要となっており、全国的に女性消防団員の加入が進み、その活躍の場は従来の補助的立場にとどまらず、地域防災を支える戦力として位置づけられている。松江にも女性の消防団があるがどのような役割をしておられるのか伺う。 (2) 以前から消防団員の減少や高齢化、平日昼間の人員確保の困難さなど地域の消防力の弱体化には問題があると思っていたが、消防団は男性が活動するものだと思い込んでいたので女性でも地域の防災の為にできる事があれば少しでも協力したいと思っている。現在のカメラ隊の活動、実動を伺う。 (3) 松江市でも人口減少と若年層の減少により、消防団全体でも担い手不足が深刻化している。女性消防団においても仕事や家事、育児との両立の難しさから加入希望者が増えにくい状況ではあると思うが、女性団員の加入促進に向けた広報や、今後の課題について伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	議員名	佐野みどり	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨				
1	不登校支援について	(1) 2024年度の全国調査では、小中学校における不登校数は353,970人で12年連続増加し過去最多となった。10年間で3倍と急激に増加しているこどもの不登校に歯止めがかからない現状がある。行き渋りや不登校で悩んでいるこどもに安心と休息を保障し、同時にそれを支える保護者への支援、過度な競争と管理をやめ、こどもたちが通いたくなるような学校に変えていくことが必要ではないか。 ア 不登校が増え続ける要因をどのように認識されているか伺う。あわせて、不登校支援の基本は、こどもの心の傷への理解と休息・回復の保証に据えることを求めるが、所見を伺う。 イ 各種の情報提供は、保護者の意向も踏まえつつ早目の対応が必要と考える、所見を伺う。 ウ 初期段階での対応で留意されている点、家族が求めたときの情報提供はどのようにされているか伺う。 エ 松江市がおこなっている各不登校支援事業について、利用状況とその推移を伺う。 オ 校内教育支援センターは、「学習」に限定されず、こどもたちが安心して過ごせる居場所であることが求められていると考えるが、所見を伺う。また、校内教育支援センターの利用状況、現在の対応状況を伺う。 カ 市が主催の不登校親の会の活動状況をいかに把握されているか伺う。 キ 不登校に関する情報を、親の会やフリースクール、専門家と協力して発信できる体制作りが必要と考えるが、見解を伺う。 ク 不登校児童生徒を持つ保護者への支援充実・強化を求めるが、所見を伺う。				
2	農業支援について	(1) 昨年来、主食のコメをめぐる危機的状態が続いている。深刻な米不足で消費者価格が高騰し、私たちの暮らしを直撃している。そして米を作る農家が激減し、米の生産基盤が急激に崩れている。米生産に関しての国の方針は、前政権は農政の誤りを認め、米の増産に舵を切ったが、高市政権は「需要に応じた生産」を強調し、2026年度の生産目安を25年度より37万t減らすと発表した。これは、「安心して米を作り続けたい」と願う農家や「手ごろな価格で国産米を食べたい消費者の願い」に反するものではないか。今や米問題は作り手の農家だけの問題でなく、誰も問題として捉えなければならない。 ア 農家の所得補償と農産物の価格保証、併せて、消費者価格の安定のため備蓄米をしっかりと確保することが必要と考える。これらを国に要望することを求めるが、所見を伺う。 (2) 近年、野生鳥獣による農産物被害が増大している。 有害鳥獣対策は、必要に応じ、実情に応じたさらに柔軟な対応が求められる。 ア 対策費の増額や補助率の引き上げなど、支援強化を求めるが所見を伺う。				

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	22	議員名	佐野みどり	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
3 介護保険制度について		イ 鳥獣被害対策の近年の動向を伺う。 ウ 制度の周知徹底を求めるが所見を伺う。 (1) 介護保険料を納めているにも関わらず、必要な時に必要なサービスが受けられない、慢性化する人手不足と低介護報酬による経営難により、事業所の存続が厳しくなっている等の全国的な問題が、まさに松江市でも大きな問題となっている。住民福祉増進の立場に立ち、地域の介護を守るために、自治体の独自支援を強める時ではないか。 ア 介護保険総合事業の充実として、単価引き上げなど支援が必要と考えるが、所見を伺う。 イ 訪問介護サービスに対し、移動距離に応じて補助するなど支援策を求める。所見を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	23	議員名	吉岡麻美	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	子育て短期支援事業について	(1) 松江市での子育て短期支援事業の利用状況について伺う。 (2) 本事業についてどのように周知徹底を図っているか伺う。 (3) 本事業の利用効果と質の評価について伺う。					
2	不登校支援について	(1) 不登校支援の1つとして、居場所づくりのための人員を導入してはどうか、見解を伺う。 (2) フリースクールに関する情報提供の充実について伺う。 (3) 不登校児童生徒の保護者に対する包括的かつ継続的な支援体制について伺う。 (4) 不登校支援の推進に向けた「生徒指導推進室」の名称に関する見解について伺う。					
3	市民協働の脱炭素化推進について	(1) コンポストの購入補助制度を導入し、市民協働による脱炭素化推進を行ってどうか、見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	24	議員名	樋野伸一	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
1	歯科医療体制の確保と市民の口腔健康向上について		(1) 子どもの口腔保健、高齢者の訪問歯科、歯科人材の確保、市の歯科医療政策の方向性について伺います。口腔の健康格差は、そのまま将来の健康格差につながることから、市としての積極的な支援策が必要です。 ア 松江市の学校健診における歯周病の有所見の児童生徒数と、健診後の受診・治療完了の状況を伺います。 イ 生活困難家庭やひとり親家庭の子どもに対し、歯科受診を確実につなげるため、市としてどのような支援やフォローを行っているのか伺います。 ウ 通院が困難な高齢者にとって、訪問歯科診療や訪問口腔ケアは生命に関わる重要な支えです。市内でも訪問歯科を行う医療機関はありますが、需要の増加に対し、提供体制が十分とは言えないとの声もあります。また、介護施設や在宅介護における口腔ケアの質を高めるためには、歯科衛生士等との連携強化が欠かせません。 松江市における訪問歯科診療・訪問口腔ケアの実績と、今後の体制強化について伺います。 エ 市内では唯一、歯科の無料低額診療を行っている医療機関があり、受診控えを防ぎ、必要な治療につなげる重要な役割を果たしています。 口腔の健康格差を広げないためにも、市として必要な支援を検討すべきと考えますが、所見を伺います。あわせて、過去5年間の歯科無料低額診療の利用者数を伺います。 オ 島根県の「歯科医療供給体制の現状」では、人口10万人当たりの歯科医師数は全国45位と低く、特に40歳以下の若手歯科医師が全国平均より著しく少ないことが示されました。さらに、歯科衛生士や歯科技工士についても、全国的な不足が続いており、松江市においても確保が課題です。 歯科医療体制は、これらの職種がそろって初めて成立します。 将来の歯科医師減少に備え、松江市として歯科医師確保や、地域の歯科医療体制を維持するための方針や検討状況を伺います。 カ 歯科衛生士、歯科技工士など関連職種の確保と職場定着について、市として支援策の充実を求めますが、所見を伺います。 キ 歯科医療を持続可能にするためには、国の診療報酬や補助制度の改善が必要であり、地方自治体からの働きかけが不可欠です。松江市として、県とも連携し、歯科医療を含む診療報酬の抜本的引き上げを国に求めるべきです。所見を伺います。				

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	24	議員名	樋野伸一	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	12月10日
質問項目		質問要旨					
2	介護保険料未納者への対応について	(1) 介護保険料の未納者への対応、とりわけ差し押さえの問題について伺います。介護保険料は、65歳になると年金から自動的に天引きされる仕組みとなっています。しかし、65歳以上の高齢者の年金受給額は決して多くはありません。低年金の高齢者は生活に困難を抱える方が多く、結果として介護保険料を納めることが難しくなる現実があります。 そうした中で、松江市では支払いが困難な高齢者に対し、差し押さえという厳しい措置が行われています。令和6年度には84人に対して、総額821万2,973円もの差し押さえが実施されています。県全体では323件、851万3,496円であり、そのうち松江市が件数で88%、金額で96%を占めています。他の市町村が差し押さえを抑制している中で、松江市だけが突出している極めて異常な状況です。 ア 令和5年から令和6年にかけて未納者数や差し押さえ件数が減少傾向にありますが、令和7年度においてもこの減少が続いているのか伺います。 イ 生活に困窮する高齢者に対する差し押さえは、生活基盤そのものを脅かす重大な問題です。低年金で暮らす高齢者を追い詰めるような対応は避けるべきであり、松江市はこれまでの姿勢を改め、差し押さえは直ちに中止すべきです。所見を伺います。 ウ 松江市には19億円の基金があります。この基金を活用し、保険料の引き下げなど市民や利用者の負担軽減を求めますが、所見を伺います。 エ 生活困難世帯がさらなる困窮に陥らないよう、少額での納付や分割納付はもとより、減免制度の拡充など、一人ひとりの事情に寄り添った柔軟な対応を強化すべきです。所見を伺います。					
3	島根原発について	(1) 原発問題について伺います。 福島県浪江町をはじめとする福島第一原発周辺の自治体を視察してまいりました。浪江町では、町の8割がいまだ帰還困難区域のままであり、放射線量が高く人が住める見込みが立っていません。除染は今も続いているますが、完全に終わる時期は示されていません。浪江町が原発の立地自治体ではないが、一度事故が起これば、津波被害の救護の最中であっても、役場職員自身も避難を余儀なくされ、同時に町民全員の避難事務が職員に重くのしかかる。そうした苦悩と切迫した状況を、職員の方から直接伺いました。 原発が未完の技術で常に過酷事故の危険性と隣り合わせであり、核廃棄物の処理方法さえも未確立であることに加え、現在の避難計画の実効性についても重大な疑問があります。 ア 原発事故が起これば、真っ先に求められるのは市職員の役割です。放射線や汚染、被ばくという高度な専門知識が必要であり、同時に職員自身も被災者であり家族を守らなければならない立場です。十分な知識と訓練の積み重ねは言うまでもありませんが、職員の安全確保、いのちと健康に対しても政治・行政は責任を負うべきであると考えますが、所見を伺います。 イ 福島第一原発事故の教訓を踏まえ、原発に依存せず、再生可能エネルギーと省エネルギーを軸とする持続可能なエネルギー政策へ転換することが必要です。島根原発の再稼働ではなく、市民の命と地域を守るために、松江市として原発ゼロの方向に踏み出すべきです。所見を伺います。					